

市では観光による感動を多くの人に提供するためNPO法人留萌観光協会や市内外の団体・企業、イベント実行委員会との連携を図り様々な事業に取り組んでいます。

平成24年度重点事業の紹介

うまいよ！るもい市

6月24日(日)



留萌のうまいものを一堂に集めた食の祭り。ウニ、ホタテの袋詰め放題が人気。買ったものをその場で食べられる「浜焼き」コーナーもある。今年は年4回の開催。旭川や道央圏からも訪れる人気イベント。

(2回目は7/29、
3回目は10/14、
4回目は12/16開催)

観光施設管理事業

観光施設の維持管理、民間ノウハウによる質の高いサービスを提供するため指定管理を3年間とします。

増毛ノロッコ号運行

4月28日(土)～5月6日(日)

乗客への観光PRを実施します。

沖見海浜公園整備事業

5月～7月上旬

ゴールデンビーチ北側の施設を充実させ観光客や訪れる人の満足度向上を図ります。

- シャワー、トイレ、水道設備を整備
- 海水浴時の安全監視など拠点となる施設整備
- 駐車場の一部を舗装

- ### II 留萌らしさを生かした観光地づくりとして、留萌に「来てもらう」「おもてなしをする」ことにより観光振興を進めます。
- ① 菜の花プロジェクトによる春の色のおもてなし。
 - ② 「るもい浜焼き」のモニターツアーやプロモーション活動の実施。
 - ③ 地引網や網外し、加工体験など体験観光メニューの確立。
 - ④ 呑清まつり、うまいよ！るもい市の支援。
 - ⑤ 大型客船寄港時の歓迎レセプションや物産販売の実施。
- また、商店街では「歩いて楽しい商店街事業」により、四季折々の商店街を楽しんでもらう計画です。
- さらに、留萌観光・感動事業としてレトロバス「カズモ号」の運行や花火大会など新たな観光サービスを行い、留萌での滞在時間をより充実したものとなるよう取り組みます。



海岸に咲く夏の夜空の花（留萌海岸花火大会）

7月上旬～8月中旬 毎週土 午後8時（予定）

7月上旬から8月中旬の海水浴場開設期間中の毎週土曜日にゴールデンビーチるもいの突堤から花火を打ち上げます。市内外から訪れる人を夜空の花でおもてなし。

9月

8月

7月

6月

5月

4月

レトロバス“カズモ号”運行



7月中旬～8月中旬の土日

夏休み期間中の毎週土日にカズモちゃんをイメージキャラクターとしたレトロバスを運行。お勝手屋萌発着、無料周回運行で市内ミニ観光を楽しめます。

客船寄港歓迎事業



7月3日(月)

につぼん丸が寄港します。留萌管内や旭川、富良野方面の観光の玄関口として、今後の客船寄港、交流人口の増加に繋がってきたいと考えています。

客船寄港歓迎事業



6月28日(木)

ぱしふいっくびいなすが寄港します。歓迎のレセプションや留萌の物産販売を通じて留萌のPRを行います。

お勝手屋萌移転OPEN



4月26日(木)

旧留萌信金駅前支店跡に移転しました。留萌管内の観光情報窓口を併設する物産販売の拠点です。NPO法人留萌観光協会が運営しています。

I 自然・食の魅力発信

留萌の「自然」や「食」と連携しながら賑わいを創り出し、交流を促進します。道内外に向け留萌の観光や物産の知名度を向上させるために、札幌や旭川などで開催されるイベントへ積極的に参加します。

また、三省堂ブックカバードプロジェクト事業では広域的な留萌の魅力を伝えます。

著名人や大手外食産業の知名度や集客力を活用し、地域資源のブランド化やメニュー、レシピの開発に取り組み、留萌への誘客を図ります。

健康産業との連携を図り、地場産品の付加価値向上や観光情報を発信します。

III 観光を支える人、環境づくり

観光の受け入れ基盤である観光施設の充実を図ります。沖見海浜公園整備や「海のふるさと館」「千望台休憩施設」の補修工事の実施、お勝手屋萌の移転により、訪れる人の憩いの時間、環境づくりを行います。

また、観光客や体験型観光に訪れる人に安心安全と満足感を提供する観光のコーディネートと体制を確立するため、自然体験リーダーの育成、市民コンシェルジュの活用、地域おこし協力隊との連携を図りながら人材の確保に努めます。

留萌の良さをすすすわ

留萌の外に積極的に向き、情報を発信しつつ、留萌に来てもらう、そして、おもてなしをすること、リピーター（留萌ファン）を増やしていくために、既存の観光に加え、新たな観光サービスに取り組んでいます。